

アンケート調査報告書

新型コロナウイルス感染症予防による環境活動への影響

1. 調査の目的・概要
2. アンケート集計結果
3. アンケート結果から見えるものと今後の取り組み
4. 回答をいただいた団体の概要

2020年 8月 20日

特定非営利活動法人環境パートナーシップちば

ホームページ <https://kanpachiba.com>
お問い合わせ先 info@kanpachiba.com

1. 調査の目的・概要

目的

前例のない新型コロナウイルス感染症予防対策の影響は様々な変化をもたらしています。

特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば(以下 NPO 環パちば)では、千葉県内の環境活動団体の、新型コロナウイルス感染症予防により活動において受けた影響・課題や対策を共有し、今後各団体が活動の参考にできることを目指してアンケート調査を行いました。

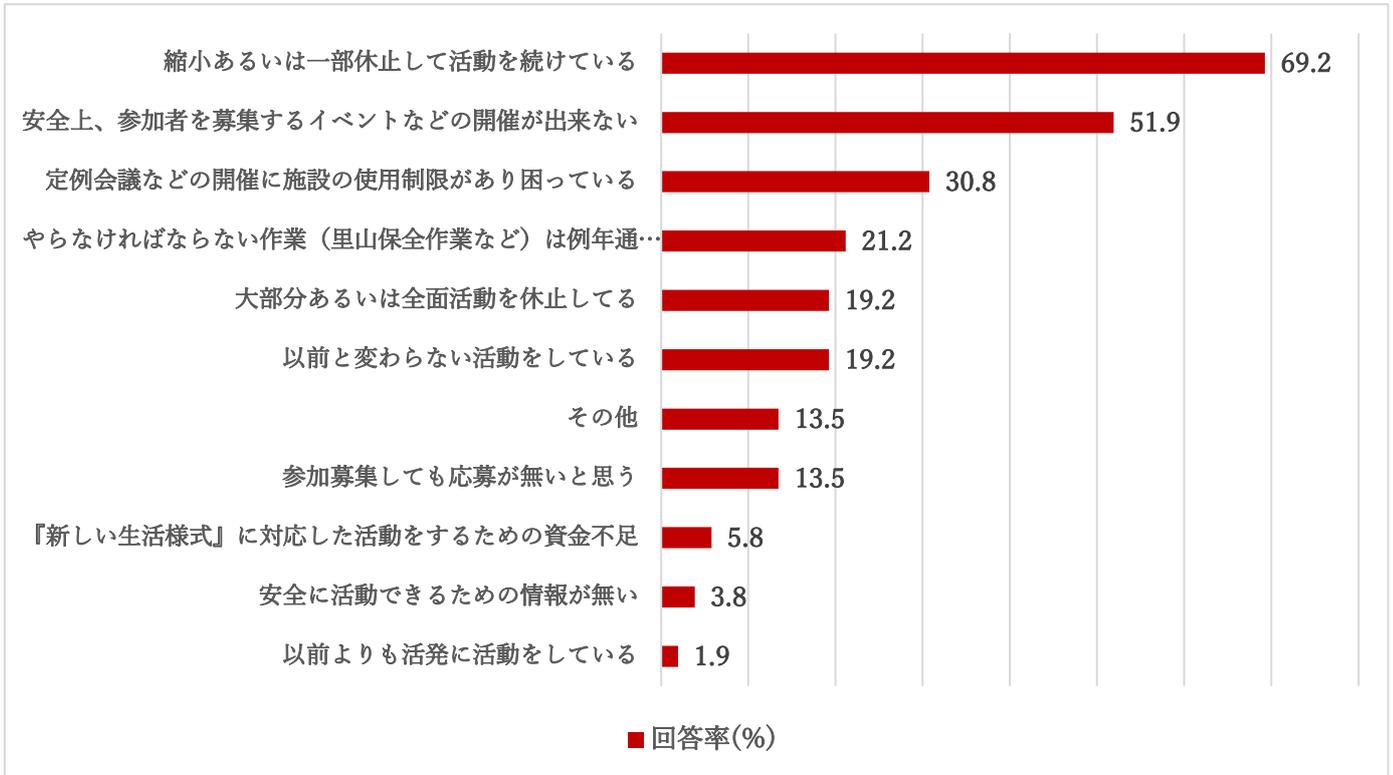
以下、集計結果を報告します。

調査概要

調査期間	2020年7月17日 ~ 2020年8月4日
調査方法	・オンライン調査 団体あてに調査の目的等をメールし、NPO 環パちばのホームページに掲載したアンケートフォームへの回答を依頼。
調査対象	・千葉県内の環境活動団体 約100団体
質問項目	・新型コロナウイルス感染症対策による活動への影響(自由回答を含む) ・環境学習(体験イベント・体験講座)など、新型コロナウイルスの影響 ・活動への安全対策 ・今後、安全に活動できる工夫の情報交換について ・団体の収入について(年間の見込み) ・その他の意見など(自由回答)
回答数	52件

2. アンケート集計結果

2-1、新型コロナウイルス感染症対策による活動への影響(複数選択可)



具体的な影響事例(自由回答)

【環境学習やイベント実施状況】

- 公民館や学校での出前講座・出前授業がメインなのでほとんど中止&延期です。但しオンライン環境講座を企画・実施スタートしました。
- 県から施設見学の見合わせを提案されたため、中止した見学会がある。
- 市のイベントが年内休止で活動が出来ない。他の団体からの要請には応じている。
- 定例イベントを中止した。
- イベントにおいて、感染防止のために一部実施できていないものがある
- イベントは何回か中止しましたが、今再開しました

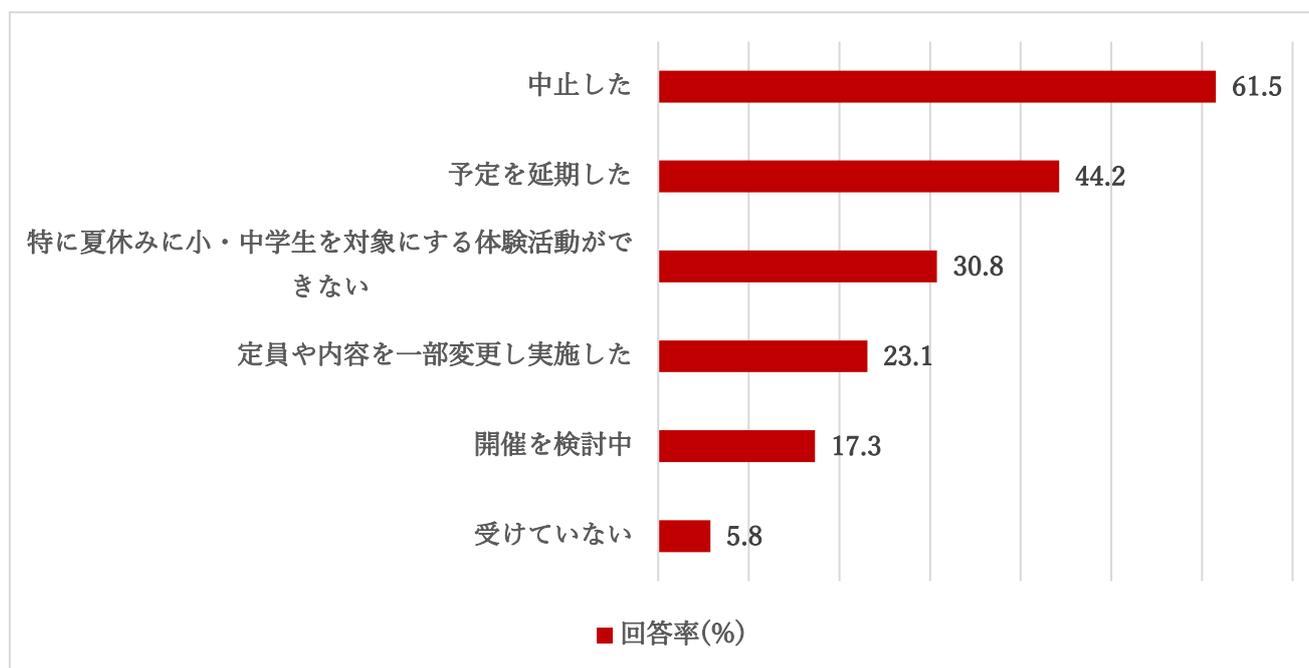
【総会・内部情報交換など】

- 総会、幹事会開催を延期している。
- 会場が使用禁止になり総会が開けず資料印刷もできなかつたためにメール添付で承認を得た。
- 感染症対応のための作業と団体内の共有を頻繁に行なっている

【その他】

- 昨年の台風被害が復旧されておらず、その整備作業中にコロナ襲来に会い、二重の苦しみをしています。

2-2、環境学習(体験イベント・体験講座)など、新型コロナウイルスの影響(複数選択可)

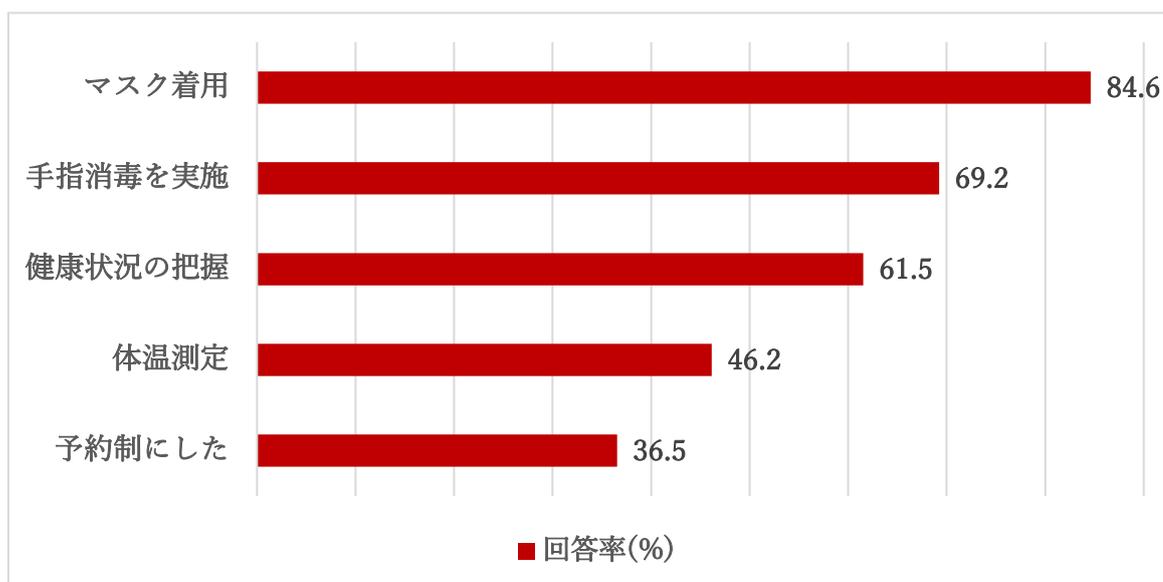


2-3、活動への安全対策(複数回答)

安全対策をとり活動しようと思っていますか？

はい 94.2%

具体的な安全対策として実施しているものを選択してください。(複数選択可)

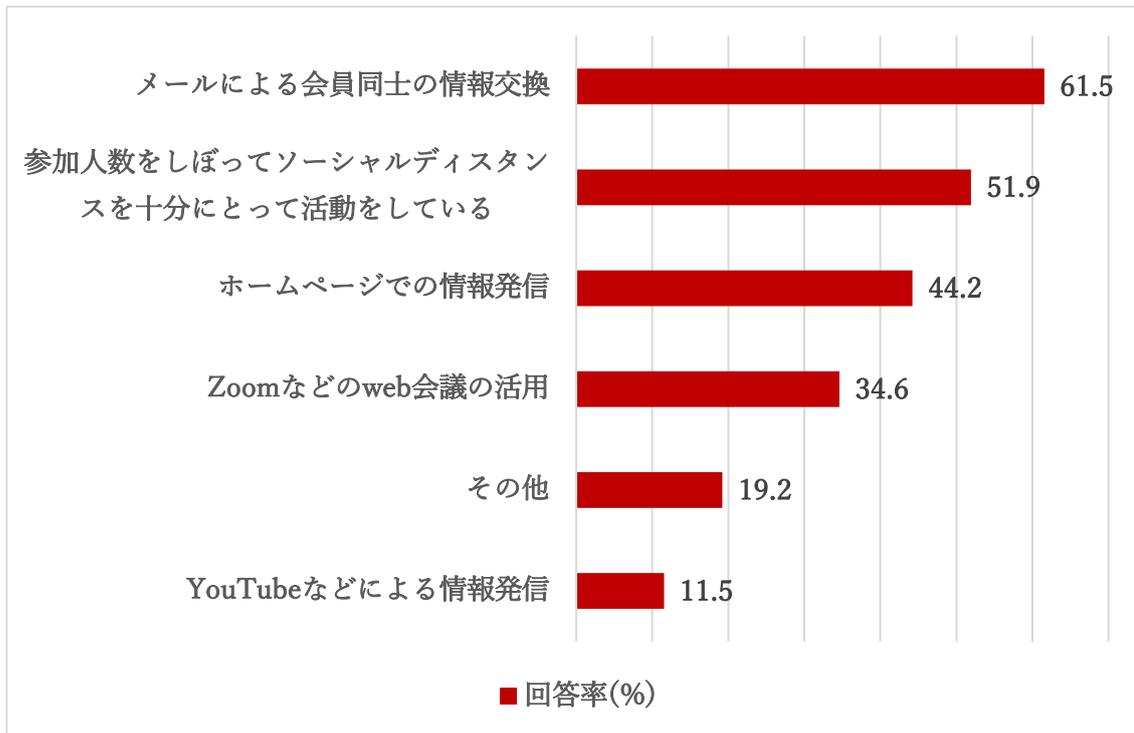


2-4. 今後、安全に活動できる工夫の情報交換について(複数選択可)

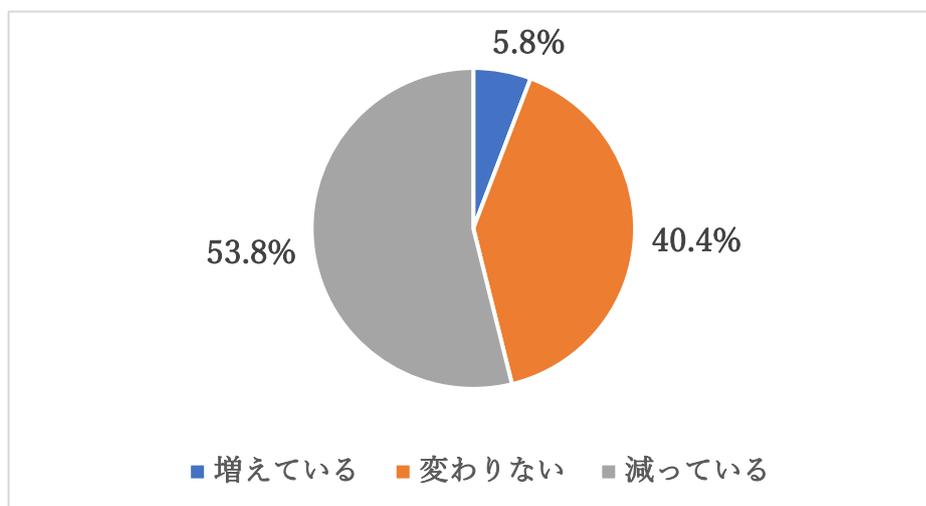
今後、安全に活動できる工夫をお互いに情報交換したいと思いますか？

はい 94.2%

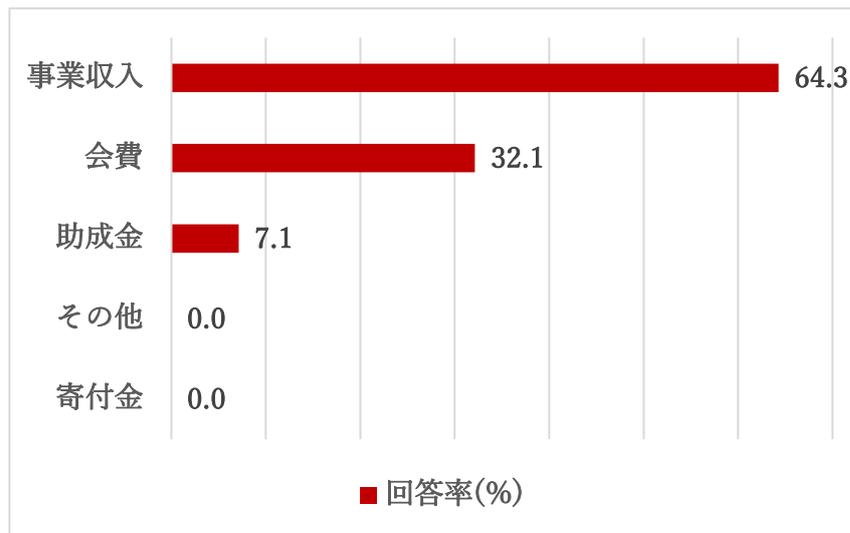
安全に活動するための工夫



2-5. 団体の収入について(年間の見込み)



減ると回答した団体の収入で、最も減収となったものは何ですか？



その他の意見(自由回答)

【活動・会議】

■定期的な会議を行うことができないため、メールで情報共有しながら進めている。

■地球温暖化防止の観点から、啓発活動を実施していますが、今年度に入り、10月末までは、すべての授業・講座・フェア・イベントが中止&延期になっています。気候変動→気候危機になっている重要な局面での新型コロナウイルスの影響は非常に残念です。

コロナ危機;気候危機を鑑み、オンライン環境講座を企画・実施スタートしました。継続的に実施する予定です。

■職員のソーシャルディスタンスをとりマスクを着用し、手洗を励行し、以前と変わらず遅滞なくできているが、売上が激減した。その後は回復傾向にあるが、その他の環境関連品の販売でしのいでいる。公民館祭、農業フェス等アピールの場が軒並み中止となり、自粛せざるを得ない。会議は Zoom 等で対応している。今後は、やり方を工夫し、アピール活動を展開していく予定。

■新しい生活に慣れて活動をしていくことを考えています。

■花壇の整備と青少年の野球グラウンド利用が主たる活動です。

マスクの着用、距離の確保、飲食前の手の消毒を励行しています。総会は9月まで延期です。

■環境活動で重視したいのは個人の意思や信念。啓発活動は無理のないものでありたい。

環境活動で重視するのは個人の意思とリアルな体験。

■コロナによる影響も大きいですが、各団体新規会員というか後継者を見つけられないでいるという、団体としては一番大きな問題で困っているのではないのでしょうか？

コロナによって、出会いの機会がもてないことで、拍車がかかってしまっているのではないのでしょうか？”

■市のイベント中止がいちばん痛い。一年の計画が台無し。また出前講座もほとんど見込めない。

今まで実行したのはゴーヤ苗配布(グリーンカーテン)。活動は開店休業状態、会の定例会議は行っている。環境財団、東葛地区団体との Zoom 会議”

【収入・財政】

- 全て会費で賄っているので収入 0円、活動を始めたら会費を徴収する。”
- イベントでの参加費収入、物品売上げ
- 団体の収入については、今後変更する可能性もある。
- 収入の増減はこれからです。市との委託契約は実施状況により変化します。コロナ対策で目に見えない経費と労力が発生しています。今後、市との協議となります。

3. アンケート結果から見えるものと今後の取り組み

アンケートからは、新型コロナウイルスの流行による感染症対策のため、ほとんどの団体が何らかの影響を受けているが、各団体がそれぞれの方法で“新しい生活様式“への対応を工夫して活動していることがわかりました。

具体的には、活動施設の利用制限や参加者確保ができず活動を休止・延期したり、活動を行う場合でも、安全対策のため活動を縮小して開催されています。

出会うの機会がもてないことは団体活動にとっては大きな問題ですが、直接会うことを避けるために、メールによる会員同士の情報交換、ホームページで情報発信以外にも、Zoom などによるオンライン会議・セミナーなど、新しい取り組みを実施している団体もありました。

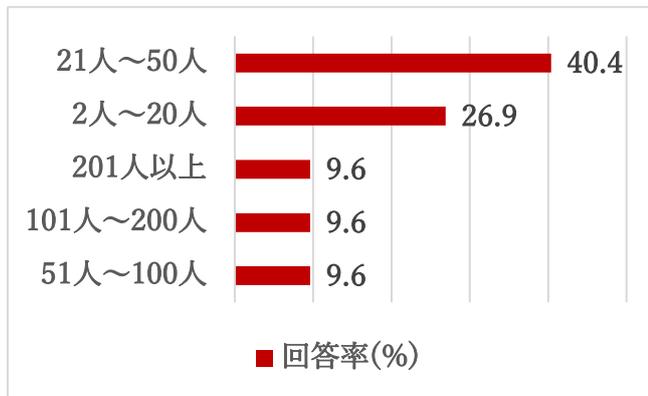
「今後、安全に活動できる工夫をお互いに情報交換したいと思いますか？」では、ほとんどの団体が、情報交換をしたいとのことでした。活動の継続や再開に向け『情報交換』による団体並びに世代を超えた“新たなつながり”の構築が今後に向けた課題と思われる。

今後は、中間支援団体「環境パートナーシップちば」として、まず情報交換の場づくりを進めていきたいと思えます。

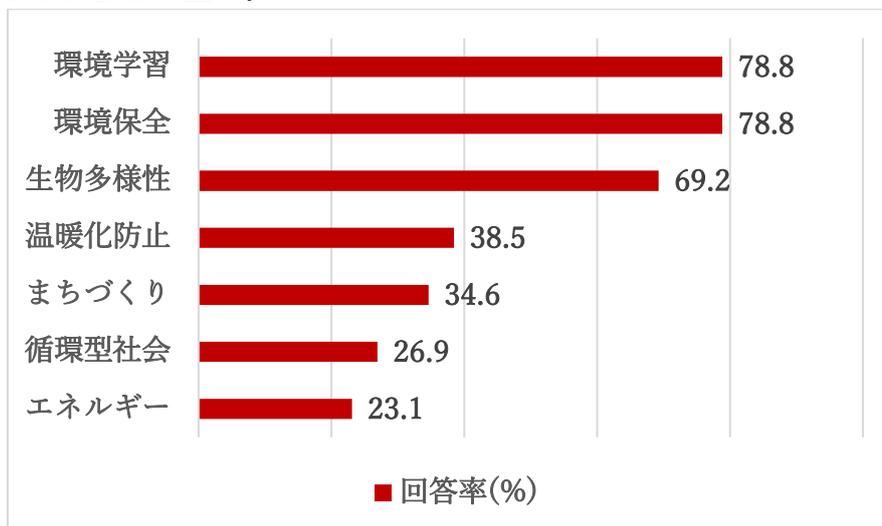
皆さまの活動状況や困りごとなどを以下のアドレスにお送りいただきますよう、よろしくお願いいたします。 info@kanpachiba.com

4. 回答いただいた団体の概要

会員数



活動分野(あてはまるもの全て)



生物多様性を選んだ団体の活動フィールド

